

第6回 宇和島市立伊達博物館建替委員会 会議録

- 日 時 令和2年7月3日（金） 13：30～15：30
- 場 所 宇和島市役所8階 801会議室
- 出席者 [宇和島市立伊達博物館建替委員会委員（順不同、敬称略）]
岡原 文彰、玉田 光彦、金瀬 聡、土居 哲也、福島 朗伯、三曳 重郎、
伊達 宗信、二宮 信彦、廣瀬 孝子、木村 宗慎、日前 賢一郎、
三好 めぐみ、有間 義恒、藤堂 真二、二宮 一之
- 欠席者 田中 広興
[事務局]
教育部長
文化・スポーツ課長
伊達博物館（館長、係長）
株式会社トータルメディア開発研究所
- 議 事 (1) 報告・説明事項
 - ①施設規模の検討について
 - ②配置計画について
 - ③事業費概算について
 - ④事業スケジュールについて
 - ⑤現博物館敷地利用計画について(2) 協議事項
 - ①各報告・説明事項に対する協議(3) その他

次 第

- 1 開会
- 2 議事
- 3 閉会

■会議の記録

1 開 会	(事務局による司会進行)
委員長	(委員長挨拶) ・改築事業の計画内容を、できるだけ早く、わかりやすい形で市民に公開したい。 ・そのためのイメージを委員会として共有していきたい。
市長	(市長挨拶) ・皆さんの知見を結集させ、市民の皆さまに理解していただける計画としていきたい。
2 議 事	
(1) 報告・説明事項について 及び (2) 協議事項	
①施設規模の検討について	
トータルメディア開発研究所 (以下 TM)	・宇和島には年間5万人程度の観光客が来ている。入館者5万人の博物館の延床面積は3,000～4,000㎡である。 ・防災のため2階に重要施設を配置する必要があり、その面積が2,000㎡である。 ・以上から延床面積は4,000㎡程度を想定する。
委員長	・ただいまの説明について何か質問はないか。
A委員	・入館者実績等からの検討ということだが、宇和島伊達家の所蔵資料からの検討はしたか。
事務局	・現状の収蔵庫を分析し、十分な広さを想定している。
A委員	・展示についてはどうか。伊達家の素晴らしい文化財を、もっとたくさん見ていただきたいという思いがある。
B委員	・多くを展示し続けることは、文化財保全のため困難である。

- C 委員
 - ・来館者の滞在時間や展示に集中できる時間は限られている。
 - ・リピーター確保のためにも展示の入れ替えは必要である。
 - ・来館者にとって目玉となる甲冑等の資料が全く見られなければ、満足度が下がる。
 - ・展示資料の選定のみならず、展示手法が重要となってくる。展示手法の充実により、来館者の満足につなげる。
- B 委員
 - ・1 階の常設展示の充実を図ることが重要。
- A 委員
 - ・今の伊達博物館の展示ボリュームが少なく感じる時がある。
- B 委員
 - ・実物展示は限られるとしても、解説等の充実を進め、博物館の滞在が実り多く、密度の濃いものにしていただきたい。

②配置計画について 及び ⑤現博物館敷地利用計画について

- TM
 - ・配置を検討するにあたり、前提条件は以下のとおり。
 - 1 天赦公園、天赦園との相乗効果
 - 2 天赦園から宇和島城への眺望確保
 - 3 天赦公園の公園機能の維持
 - 4 市民の利用促進
 - 以上のこと等を勘案し A～F の 6 案を作成した。最終的に F 案をベースとして配置案 1、配置案 2 を提示する。
- A 委員
 - ・天赦公園の芝生部分のあり方が市民から問われている。
- D 委員
 - ・利用している市民の不満が出ないようにしないとイケない。
- C 委員
 - ・公園部分に向けて天赦園を拡張とあるが、現状ではブロック塀があるが。
- TM
 - ・拡張というより、天赦園の緑を公園に対して連続性を持たせるという意味である。

- B 委員 ・ ブロック塀ではない、格好の良い境界を考えたいということである。

- D 委員 ・ 大雨時の排水機能は維持できるか。

- 事務局 ・ 天赦公園付近は、以前はよく浸水していたが、周辺の排水管改良により、近年はそのようなことはない。建物周辺は盛り土することになると思うが、影響は限定的と考える。

- B 委員 ・ 工事中における、天赦園の池の水量にも十分留意されたい。

- A 委員 ・ グランドレベル5メートルというのは、本当にそれで大丈夫か。現状では2階建てを想定しているのか。

- TM ・ このシミュレーションでは2階建てで検討している。

- A 委員 ・ 本日の資料は具体的なものもあるが、どういうふうに捉えれば良いのか。

- 委員長 ・ シミュレーションとして当てはめたものに過ぎない
 ・ 市民の皆さんに提示する際の、わかりやすいイメージ図を決めたい、というのが本日の主題である。
 ・ 現博物館敷地の跡地利用も含め、歴史文化エリアとしての一帯のありかたを要望として形にしたい。

- C 委員 ・ 駐車場が心配である。駐車台数が十分でないように感じる。また駐車場から博物館まで距離があるようだが、大丈夫か。
 ・ 現博物館と天赦公園との間の市道に分離帯があって、そこに会見の松がある。例えばどちらかに市道を寄せるとか、全体的に考える必要があるのではないか。

- B 委員 ・ 同感である。例えばメインエントランスのところに大型バスが乗り付けられるとか、基本設計の段階で細かいところまで実現させてもらわないと困る。

- C 委員 ・ 遊具のある児童公園はどうなるのか。

- TM ・ 児童公園部分は約 2,300㎡あるが、工事中及び新博物館建設後も同等面積を確保できる計画としている。

- 委員長 ・ 配置案 2 は、細かい修正はあるにせよ、合理的と考えるが、ほかに何か無いか。

- A 委員 ・ 駐車場の件はよいのか。この案では少し優しくないように感じる。もっと工夫していかないと。

- 委員長 ・ バスの寄りつきを絵に付け加えるとか、駐車場のことは何とかする、という姿勢がわかれば良いのではないか。

- A 委員 ・ 天赦公園内にあるトイレはどうなるのか。なくしてしまうのか。

- TM ・ 建築設計上、干渉するのであれば。

- A 委員 ・ それは仕方ないにしても、公園にはトイレが必要では。

- B 委員 ・ 本体より先に、博物館本体のモデルハウスやパビリオンの要素を持つ東屋のようなトイレをつくるのも良いのでは。いずれにしても公園内にはトイレが必要なので、イラストも修正した方が良い。

- A 委員 ・ グラウンドレベルは 5メートルで大丈夫か。

- 事務局 ・ 想定はクリアしている。もちろん物事に絶対は無いため要件を満たす、と言うにとどまる。

- B 委員 ・ 予算や景観が許すのであれば、3階建ても検討の余地がある。

- C 委員 ・ 身障者用のスペースだとか、色々なことを含めて考えないといけない。博物館から宇和島城や天赦園への眺望とか、今日は色々なアイデアを言ってもよいのか。

- | | |
|------|---|
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアは大いに結構で、ここでの意見は基本設計の参考として、建築家に工夫してもらおう。 |
| C 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・いま、天赦公園の芝生のまわりがウォーキングコースになっているが、土じゃなくて陸上のトラックのようなものでも良いのでは。 ・天赦公園用の駐車場は、土日にはいっぱいになる。現博物館敷地に隣接する市有地を活かすことはできないのか。 |
| B 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・現博物館敷地周辺の土地を含め、周辺エリアを一体整備できれば、という思いもある。 |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・色々なアイデアがあると思うので、集約して市に対して要望書を出す形を取る。 ・配置については、いくつか条件はあるが配置案2で進めていきたい。賛成の委員は拍手願う。(拍手多数) ・今後は配置案2を前提に基本計画策定を進めていく。 |
| A 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・市議会への報告が必要ではないか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・議会に対しては、配置案2のイラストを修正して、8月上旬には概要説明を行う。 |

③事業費概算について

- | | |
|----|---|
| TM | <ul style="list-style-type: none"> ・設計費、工事費、展示設計、展示工事費等を算出した。 ・工事費は公開承認施設仕様のため高価になっている。 ・液状化対策の地盤改良も必要である。 ・資料輸送費、外構整備費等も算出した。 ・事業費は概算であるが、約35億円と算出した。 |
|----|---|

④事業スケジュールについて

事務局

- ・基本計画策定は9月末の予定であったが、新型コロナウイルスの影響があったため3ヶ月延長し、12月末までとする。
- ・次回、第7回委員会は9月中を予定しており、委員会としての基本計画案をとりまとめたい。
- ・基本計画のパブリックコメントは10月上旬から11月下旬を想定しており、その間に説明会を行う。
- ・今年度のスケジュールは変更となったが、年度をまたいだ、全体的なスケジュールに変更はない。

(3) その他

3 閉 会

委員長

- ・パブリックコメントについては、できるだけ多くの市民に関心を持ってもらうため、広報周知の工夫をされたい。
- ・議論出尽くし、意見無いため散会とする